

# こだいら未来新聞

RIKKEN  
MINSHU  
号外

立憲民主  
The Constitutional Democratic Party  
http://www.cdp.jp/



発行所  
〒187-0042  
小平市仲町210-2-203  
こだいらの未来を考える会 代表  
小平市議会議員 岩本 誠  
https://kodairaiwamoto.com  
kodairaiwamoto@gmail.com  
小平市議会議員 立憲民主党所属

## ふるさと納税の企画状況を問う

### 岩本市議がふるさと納税への取組を訴える

令和五年十二月議会一般質問で、小平市に寄附されるふるさと納税額がなぜ増えないのか確認した。これまで返礼品競争は好ましくないという見解もあり、収入源である返礼品の積極的展開をしていなかった。だが、新たに十二月から個性ある商材が登録され始め、今後の展開が期待されることだ。

### ルネこだいら前、歩行者用信号点灯時間を直し

地域のホットなニュースをお届けします。小平駅南口ルネこだいら南斜むかいの、歩行者用信号で、高齢の方がわたりきれないという問題について昨年十月末、小平警察交通課に、改善依頼をしてきた。一月二十五日に青信号点灯時間が約四秒の延伸を確認、約十三秒から約十七秒に伸びた。小平警察交通課

の市民目線の対応に感謝の声が届いている。また青梅街道からあかしあ通り交差点に、小平駅、ルネこだいらへの標識、案内表示を新設する件も都へ要望中。



ご高齢の方おさんが渡り切れなかった歩道



政策報告会模様 (2024年1月9日事務所)

令和四年度ふるさと納税で、市の歳入六億七千九百四十七万円が失われた(市民が他の自治体へ寄付したふるさと納税額六億八千三百六十八万円、小平市に寄付されたふるさと納税額四百二十一万円の合計)。返礼品の条件は、市内で生産された製品、またはサービスとすることで、海産物、ビール、お米など人気が

には不利な状況となっている。少しでも改善しようと小平市はホームページで公募して品目拡大を目指している。小平の特色をいかした商材開発にはまだまだ時間がかかりそうだ。

### 政策報告会模様

令和六年一月、第五回政策報告会を開催した。小平市政について最近の状況等を報告した。主な話題は十二月議会です話した内容で、令和四年度決算認定状況、補正予算五号、請願二件が採択された。補正予算五号のポイント、①低所得者支援給付金による支援②都市計画道路の用地取得箇所の増③学校給食費の第三子以降の無償化等。また新型コロナウィルス予防接種に係る健康被害救済給付も計上された。請願では①小平市に多文化共生まち

市は随時返礼品を募集している。市内事業者は制度や趣旨を理解して応募頂きたい。今年もこの制度は逐次見直しされて継続している。本来自分のふるさとを応援するための仕組みであり、能登震災支援寄付金募集にも使われている。引き続きより良い形になるよう智慧を絞って小平市の取組も考えてもらいたい。

づくりの取組をもとめることについて②小平市における重度障害者の就労・就学支援の実施を求めることについてが採択された。また、意見書で「生産緑地の申請をしている都市農家に対する相続税の負担軽減を図るべく、納税猶予措置適用の拡大の検討を求める意見書」も採択された。この意見書は小平の農地を市民の立場から守りたいというもので、市民農園や菜園を愛する人たちの気持ちを汲んだものであり、農あるこだいらを守りたい。

### 編集後記

文芸春秋の二月号で「識者三十四人が選ぶ私の昭和歌謡ベスト三」という企画があった。ここで三人の方が私のおすすめの名曲、太田裕美の木綿のハンカチーフをあげていた。この曲は、故郷を離れて都会にいった青年への残された彼女の切ない想いをストーリー仕立てて歌ったもの。この曲を選んだ人が複数いたのがとても嬉しかった。(三人とは齋藤孝さん、清水みちこさん、達増拓也さん) また先日親戚が訪ねてきて川越半日観光した。川越といえばウナギというところで、小江戸川越うなぎを老舗の小川菊さんで堪能した。このお店七割がたが海外からのお客さん、それは、特に北京で話題になっているかららしい。いつの間にか観光地の賑わいが戻っていた。今後も賑わいは維持したいが、住民の皆さんも考慮し、オーバーツーリズムにならないことを切に願う。